



堀内徹夫
市議会議員
日本共産党

南区民報 議会報告
2017年5・6月号 No.8
発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627

無料生活相談

- 毎月第2水曜日
- 18時～20時
- 堀内徹夫事務所
南区玉川町6-16-101
☎552-2001 お気軽に！
弁護士と一緒にお聞きします。



西鉄の駅にホームドアを 障害者や利用者が署名を提出

4月10日、西鉄電車を利用している住民と視覚障害者のみなさんがホームドア設置を求める署名を西鉄本社に提出しました。堀内徹夫市議も同席しました（左写真）。



提出時、会のみなさんとともに（4月10日）

実現へ力を合わせよう

堀内市議もがんばります

市にも要請



昨年12月にも「利用者の会」は西鉄に設置を要請。
右から2人目は田村衆院議員、左隣は堀内市議。

**9468人分
の署名集まる**

「ホームドアを求める

西鉄利用者の会」（山中

美春代表）が立ち上がり、
昨年12月に西鉄に設置を
要請。共産党の堀内市議
や田村貴昭衆院議員も同

議も、昨年10月の市議会（決
算特別委員会）で設置を急
ぐよう提案。住宅都市局長
は「全国的な研究を踏まえ
事業者に要請する」と答え、
この質問は新聞でも報道さ
れました。

西鉄の動きが鈍いこと
から、同会は署名を広げ
ようと話し合い、視覚障
害者のみなさんもこの運
動の先頭にたちました。
その結果、9468人

分の署名が3か月で集ま
りました。



画期的！

核兵器禁止条約

**“日本政府は国際交渉に
参加し積極役割果たせ”**

日本政府に対し、核兵器禁止条約の実現
にむけ、国際交渉に参加して、イニシアチ
ブを發揮するよう求める意見書が、3月の
福岡市議会で全会一致で採択。この意見書
は日本共産党市議団が立案しました。

**全意見書を
一致で採択**

**3・4月
議会**

報告

詳しくは日本共産党福岡
市議団のホームページ
ページをお読みく
ださい。

道理のない「再議」など
市民の代表である市議会の
議決を無視する独断専行ぶ
りを示しました。

日本共産党は、安全をな
いがしろにする福岡空港の
民間委託に反対し、公的な
関与を強めるよう福岡市に
求めてきました。

ところが、高島市長は安
倍政権のすすめる空港民間
委託に追随したうえ、共産
党など市議会の多数が求め
た公的関与を強めるための
市の出資を拒否。

空港問題

高島市長の議会無視、独断専行許すな



市教委と交渉しました

父母・住民団体のみなさんとともに就学援助改善を求めて
市教育委員会と交渉（2月）＝左端が堀内市議

2・3月議会報告



就学援助

年収400万円以下なら
堀内市議に一度ご相談下さい

就学援助とは？

小学校・中学校に通う子どもの中で、経済的な理由で学校に行くのが厳しい家庭に、文具や教材、給食などの費用を援助してくれる制度です（生活保護世帯はのぞく）。

日本共産党は、2月議会でこの問題を質問しました。
ランドセル、学習机、文具、体操服、上靴など実際に必要なものの価格を調査した結果、小学生で7万円前後必要になること、中学生では制服を含めて9万1518円かかるとすると、市内中学校の入学説明資料を示して、

**小学校で入学に
7万円かかる…**

「今回の改定では到底足りないのではないか」として、さらなる増額を提案しました。

**就学援助を
クラブ活動にも**

の対象としていないことを追及。年間数万円かかるために、クラブ活動をやめていく現実をつけたて、対象に追加するよう求めました。
改悪された就学援助の基準を元に戻すことも求めました。
教育長は増額も項目追加も拒否。基準も「適切」と言い放ちました。

就学援助のうち入学準備金の単価を国が倍に引き上げたことにともなつて、福岡市でも小学校は2万470円から4万600円、中学校は2万3550円から4万7400円に増額になります。

共産党が国会で、新日本婦人の会の

アンケート調査を示し、実際にかかる入学準備の費用は国の就学援助単価を大きく上回っていると指摘。「『義務教育は無償』というふざわしい抜本的な見直しが必要だ」と提案。

厚労省も「水準の検証に取り組んでいきたい」と答えました（昨年5月）。

入学準備金が倍に

**共産党の
質問実る**

4人家族で
年収450万円くらいが
もらえるラインかな…



ブラックバイトなくせ



9割のバイト職場で違反か

学生アルバイトについてのアンケート調査の結果について3月30日に記者会見し、堀内市議が出席しました（上の写真）。

労働基準法などに定められた労働条件の通知書を9割の職場がアルバイト学生に渡していない実態が明らかになりました。



**調査をもとに
労働局に提案**

若者を使い捨てにするブラックバイト。共産党市議団は、福岡市の学生100人に調査を行い、それをもとに福岡労働局と交渉し、抜本対策を要求。堀内市議も参加しました（上の写真）。全文は共産党市議団のホームページで見られます。

引き続き、市議会でも提案、要求していきます。